



木枠はあえてリフレッシュしないで、ヤレた感じを上手く演出している。足まわりは10インチに鉄チンホイール。

ドアの角丸も再現。かなり面倒な板金作業を要するディテールなのだ。



センターメーター、クラブマンステアリングで当時の雰囲気を再現した室内。快適装備のクーラーはファミリーカーとしては必需品なのだ。



なんとキーレスも装着。奥さんの真紀さんも日常使うので重宝するのだ。



MORRIS MINI TRAVELLER Mk1 style

'71 BLMC ミニクラブマン エステート

快適装備のクラシックスタイル+チューンドエンジン

photo= ミニプラス編集部 miniplus text= 清原直樹 naoki kiyohara
special thanks= インベリアルクラフト大阪 tel.072-720-6780 <http://www.imperials.jp>

ミニの上級移行と新しい需要を開拓するために、MkIIIとともに'69年に誕生したBLMC ミニ クラブマンエステート。

従来のミニとは異なる顔をもつこのモデルは、良くも悪くも個性的過ぎたためにモデルとしては短命に終わる。今回紹介するクルマは、このクラブマンをベースに、顔をミニ顔に移植し、クラシカルなモリスミニトラベラーMk1仕様に仕上げている。内外装ともに、ポイントをおさえた丁寧な仕上げで、当時の雰囲気を上手く再現しているが、ただクラシックスタイルを目指したわけではなく、このミニの醍醐味だ。

まずエンジンだが、ピストンは軽量で耐久性の高い国産車のピストンを使用してひと通りのチューンを施し、5速MTを組み合わせてキビキビとした走りを実現。高速道路の追い越し車線をストレスなく走ることができる動力性能を有しているのだ。さらに、クーラー、キーレスといった快適装備で、家族で乗るファミリーカーとしても充分快適なクルマに仕上げられている。

ちなみに、オーナーの宮本さんの愛娘の侑依ちゃんのためのチャイルドシートは、留め具を自作して設置している。

Owner: K.M さん

高校生の頃からミニには憧れがあったという宮本さん。インベリアルクラフトのガンガン走れて、しかも快適仕様というコンセプトに共感して、ミニの購入を決意。奥さんの真紀さんと愛娘の侑依ちゃんと3人でミニライフをエンジョイ中。



「オレ流
カスタム
ポイント!!
01.02」

国産ピストン&あえて巻き上げ式のドアなのだ

インベリアルクラフト大阪では、ミニのエンジンに国産車のピストンを使ったクルマを過去多く納車している。純正ピストンに比べて軽く、工作精度も高い国産ピストンは、スムーズに高回転まで吹け上がるのが特徴。このトラベラーは国産ピストンと5速ミッションでらく速を実現している。

ドアはあえてオリジナルのスライド窓を捨てて、実用性のある巻き上げ式にしている。

